

年 月 日

論文目録

氏 名	印
-----	---

論 文

題 名	論文題名が外国語の場合は、和訳を附記すること
印刷公表の方法および時期	論文がまだ印刷公表されていないときは、予定を記すること
冊数・頁数	

参考論文

題 名	印刷公表の方法および時期	冊 数 頁 数
参考論文がない場合は、なしと記載のこと 参考論文が複数の場合は、列記すること (参考論文は別途提出)		

履 歴 書

履歴書作成
年月日

どちらかに

2011年11月28日現在

ふりがな いまでがわ たろう	印	○	1983	(T. S. 58年)
氏名	必ず自署のこと	男・女		4月28日生

ふりがな きょうとし かみぎょうく いまでがわどおり からすまひがしいる げんぶちょう	本籍地(国籍)	都道
現住所 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地	京都	府
電話 (075) 251-3220		県

学歴・職歴等の項目別	西暦	年	月	学歴・職歴・学位・資格	卒業・修了・中退の別
学歴	自	1999	4	同志社高等学校	卒業
	至	2002	3		
	自	2002	4	同志社大学法学部法律学科	卒業
	至	2006	3		
学歴	自	2006	4	同志社大学大学院法学研究科私法学専攻博士前期課程	修了
	至	2008	3		
学歴	自	2008	4	同志社大学大学院法学研究科私法学専攻博士後期課程 (2009年4月～2010年3月 休学)	
	至	現在			
職歴	自	2009	4	今出川大学法学部 非常勤講師	
	至	2010	3		
	自	2011	4	独立行政法人 日本学術振興会 特別研究員(DC2)	
職歴	自	現在			
	至				
学位		2008	3	修士(法学)(同志社大学)	
資格					

誤記の場合は、二重線で抹消のうえ、訂正印を押印(修正液は不可)

休学歴がある場合は明記

研究科及び専攻を明記

高等学校入学以降を記載

常勤の職について、勤務先(役職等)を年次順に記載
非常勤の職についても、特に教育・研究に関するもの
について記載が望ましい専攻分野の名称、
授与機関名を明記

〔注〕

- (1) 氏名は自署してください。
- (2) 本籍地は外国籍の場合、国籍を記入してください。
- (3) 卒業・修了・中退の別は、学歴について記載してください。
- (4) 学歴は高等学校入学以後の履歴を年次順に記入してください。
なお、休学歴がある場合は明記してください。
- (5) 学位は修士以上の学位を記入してください。なお、学位には、専攻分野の名称、授与機関名等を付記してください。

研究業績一覧表

No. 1

氏名		西暦		論文・著述・その他
項目	年	月		
修士論文				修士論文 例：「論文名」（●●大学修士論文）
著書				書名、発行所名、巻号数（シリーズもの（全集、講座、叢書、双書等）の1冊である場合）、著者名、総ページ数もしくは本人担当部分等 例：『書名』（発行所名）、著者名（本人）、全●頁 『書名』（発行所名）、共著者または監修者名等 *担当執筆箇所「第●章 タイトル●●」（pp. ●●～●●）
論文	単著の場合			論文名、著者名、掲載誌名、巻・号、掲載ページ等 学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものを記載。 例：「論文名」、著者名（本人）、『掲載誌名』巻・号、pp. ●●～●● 「論文名」、著者名（共著者・本人の氏名を掲載順に）、 『掲載誌名』巻・号、pp. ●●～●●
	共著の場合 (執筆担当箇所が明確になるよう記載)			
研究発表				題名、発表者名、発表学会大会名、開催場所等 例：「題名」、発表者名（○○学会第○○回大会（於○○大学））
その他				適宜区分を設けて（翻訳、研究ノート、書評、教材、特許等）記載 （業績上参考になるもの） 「総説」、「学会抄録」、「依頼原稿」等にあつては当該記事のタイトルを 「報告発表」、「座談会」、「討論」等にあつては当該テーマを記載。 なお、辞典の項目執筆等はこの項目になります。
翻訳				書名、発行所名、訳者名、総ページ数、原著者名、原著者名等 例：『訳書名』（発行所名）、訳者名、総ページ数、 [原著者名、原著タイトルなど]

- [注] (1)項目は、著書、論文、研究発表（学会等での口頭発表）、その他に分け、各項目ごとにまとめて記入してください。
- (2)論文・著述・その他は、著書はその発行所名、論文は掲載誌名、巻・号、掲載ページ等、研究発表は学会名、開催場所等を記入してください。